

EZ-WIN競馬予想新聞				24.4.7(日) 阪神11R G1桜花賞 芝1600m外B 3歳牝馬 馬齢 15:40														指数					
間隔	総合評価点数	予想印	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	前走傾向致	マイニング	対戦型
5	25		1	栗)ワイドラトゥール	牝3	55	17					4,14	6,1	18,1	0	0	1	北村友	藤原英	R		18	15
8	65	△	2	栗)クイーンズウオーク	牝3	55	2		△		B	11,1	5,1	4,1	48	96	43	川田将	中内田		B	4	1
13	39		3	栗)イフェイオン	牝3	55	9			D		4,6	6,1	12,1	10	87	8	西村淳	杉山佳			7	4
4	31		4	美)キャットファイト	牝3	55	11		☆	C	A	3,5	2,10	10,10	29	96	8	松山弘	上原博			15	14
4	28		5	栗)シカゴステイング	牝3	55	18			C+	A	2,12	1,13	7,2	0	194	3	浜中俊	庄野靖			9	18
5	65	△	6	栗)ハワイアンティアレ	牝3	55	10		注		B	13,2	5,1	14,1	9	92	8	池添謙	松永幹		★	14	13
5	49	△	7	栗)スウィープフィート	牝3	55	5	B	△	B	A	14,1	4,4	17,6	18	52	22	武豊	庄野靖		B	3	6
4	66	△	8	美)コラソンビート	牝3	55	7	B	△		A	5,3	6,4	6,2	10	67	5	横山武	加藤士		★	1	3
17	89	○	9	美)アスコリピチェーノ	牝3	55	1	A	注		B	9,2	5,3	10,1	71	115	43	北村宏	黒岩陽		A	2	8
5	33	★	10	栗)セキトバイースト	牝3	55	15		en			1,10	6,2	5,5	15	97	8	藤岡佑	四位洋	R	★	13	9
9	55		11	栗)ライトバック	牝3	55	6		△		B	4,2	6,3	10,1	17	67	22	坂井瑠	茶木太			11	12
17	66	▲	12	美)ステレンボッシュ	牝3	55	4	A	kk			11,1	6,1	6,2	29	105	22	J. モ	国枝栄		A	6	2
4	55		13	美)テウメッサ	牝3	55	12		kk		B	7,1	4,3	9,1	15	97	8	岩田望	金成貴			10	10
5	20		14	栗)ショウナンマヌエラ	牝3	55	16					15,3	1,8	1,8	5	55	1	岩田康	高野友	展		16	16
4	45		15	栗)エトヴブレ	牝3	55	8	B				1,7	5,2	8,3	27	127	5	鮫島克	藤岡健			8	7
4	54	警	16	栗)セシリエブラージュ	牝3	55	13		kk	▲		9,2	8,1	9,3	10	48	5	M. デ	中村直			12	11
13	41		17	美)マスクオールウィン	牝3	55	14				B	13,1	2,5	7,1	10	90	8	津村明	牧			17	16
23	69	◎	18	美)チェルヴィニア	牝3	55	3		kk		B	5,1	2,1	1,3	67	122	43	B. ム	木村哲		B	5	5

【血統傾向】

過去10年で複数の3着以内馬を出した
サンデー系種牡馬はディープインパクトと
ハーツクライそしてダイワメジャー。

ディープインパクトは既に3歳馬の産駒がおらず、
ハーツクライ産駒は出走なし。
サンデー系で注目すべき種牡馬はダイワメジャーのみ。

ミスプロ系種牡馬で複数の3着以内馬を出したのは
キングカメハメハとドゥラメンテですが、今年も出走なし。

つまり世代交代が前提となるため、
父の血統から絞り込みをかけるのはナンセンス。

そこで、母父の血統に注目しますと、
母父ノーザンダンサー系が、3着以内馬10頭を出し
母父の系統として最多を誇ります。
※母父ダンチヒ系だけは14頭出走して2着1回と見劣ります。

バターなのは母父が欧州型ノーザンダンサー系。
※該当馬は注目血統の欄に「en」の印

次点が「母父キングカメハメハ」

母父キングカメハメハ系として捉えても
該当馬は4頭しか居りません。
※該当馬は注目血統の欄に「kk」の印。

【前走傾向】

安定しているのは前走G1組で、
該当馬の半分が馬券絡みを果たしており、
前走3着以内に限定すること、勝率40%
連対率80%というハイアベレージを見せております。

次いで、馬券絡みが多いのはG2チューリップ賞組。

桜花賞本番では勝てておりませんが
0秒5差以内に負けていた馬は
【0・4・3・9/16】で、複率43.8% 複回率143%

数は少ないものの、前走G2フィリーズレビューで
1人気に支持されていた馬は、
【1・0・2・4/7】で単回率582% 複回率241%

【予想見解】

◎18番チエルヴィニア

父:ハービンジャー(欧デインヒル系/ダンチヒ系)

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系/ミスプロ系)

G3アルテミスS1着以来の競馬となりますが、
母チェッキーノは桜花賞には間に合わず、
オークスが初G1となった成長がマツタリした馬でした。

本馬は2歳重賞を勝った後、体調を整え
成長を促すために、あえて休ませていたと言う経緯があり、
ルメール殿が「牝馬G1イケマス」と評していた馬。

今回はドバイでの落馬負傷の為、
ムルザバエフ騎手に乗り替わりますが、
大きく割り引く必要はないと見ています。

★10番セクトバイースト

父:デクラレーションオブウォー(欧ダンチヒ系)

母父:欧ノーザンダンサー系

父は英国のマイルG1馬で、
産駒に米国の2歳G1馬と英国の3歳マイルG1馬。

母は英国3歳牝馬マイルG1の最高峰レース
G1コロネーションSの2着馬。

母父は英国の3歳マイルG1英2000ギニー勝ち馬。

つまり、若駒のマイルG1血統の集合体。

前走G2チューリップ賞は熱発の影響が残る不完全な状態で、
なおかつ距離延長ローテと言う2重苦の中、2着(0秒2差)を確保。

そしてこの前走成績は桜花賞の好走傾向に合致しております。

○9番アスコリピチエーノ

▲12番ステレンボッシュ

この2頭はG1阪神JFの連対馬。

桜花賞では絶対に軽く扱えない存在です。

警16番セシリエプラージュ

父:ブリックスアンドモルタル(米ND系)
母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)
母アットザシーサイドはG2フィリーズレビュー2着から
桜花賞に出走し、6人気3着に好走。

祖母ルミナスハーバーはG1阪神JFの3着馬。

勝ち切るイメージがある牝系ではないものの、
若駒の牝馬G1では3着紛れ込みには警戒したいお家柄。

また、ブリックスアンドモルタル産駒は、
第2回開催の阪神芝1600mに2頭が出走して
5人気1着、11人気3着と複勝率100%の
トレンド血統に該当致します。

鞍上のミルコ殿も、2月に肩の手術を受けて以来
すこぶる順調で、2月・3月の芝での騎乗成績は
【8・5・5・34/52】
勝率15.4% 単回率183%
複率34.6% 複回率110%

2月・3月騎乗馬の平均人気は7番人気という事を
考えれば、まさに神騎乗連発といって良いでしょう。

特に阪神芝1600m外は、
【1・2・0・1/4】で複勝率75%
複回率197%と絶好調！

人馬ともに嚴重に警戒したい存在であります。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券

馬連・3連複 9-8・12・18

くまもん馬券

単勝 10番・18番

複勝 10番・16番

馬連・3連複流し

18-2・6・7・8・9・10・12・16

ワイドフォーメーション7点

10・16-9・10・12・16・18